

研究協議 分科会協議テーマ及び挙げられた意見等
全体テーマ「社会教育主事・社会教育行政職員の在り方について」

平成 29 年 6 月 30 日

◆ **各分科会テーマ**（当日は、会員が興味あるテーマにそれぞれ参加）

【第 1 分科会】社会教育主事の発令・配置状況等について

- ・発令・配置が進まない理由，課題
- ・発令・配置が進んでいるところの取組
- ・発令・配置を進めるためにできることは？等

【第 2 分科会】社会教育主事・社会教育関係職員の専門性を高める研修等について

- ・社会教育主事が身につけるべき能力とは？
- ・研修の実際，成果・課題
- ・研修の在り方，方向性 等

【第 3 分科会】社会教育主事の資格を生かした取組等について

- ・有資格者の現状，課題
- ・有資格者の活動事例
- ・有資格者が活躍できる場面とは？ 等

◆ 各分科会テーマで挙げられた意見等

【第1分科会】社会教育主事の発令・配置状況等について

- ①発令・配置が進まない理由，課題
 - ・主事講習に時間と費用がかかる。
 - ・有資格者はいるが発令されていない。(財政面などの課題)
 - ・社会教育主事の有用性・認知度が低い。
 - ・必置ではあるが，罰則がない。
- ②発令・配置が進んでいるところの取組
 - ・市町村訪問をし，社会教育主事の配置を勧めている。
 - ・茨城県44市町村中31市町村配置
 - ・島根19市町村中17市町村配置
 - ・学校と地域の連携協働に関する地域人材の育成。
- ③発令・配置を進めるためにできること 等
 - ・社会教育主事の有用性を広めていく。
 - ・社会教育主事の役割の明確化。
 - ・行政職員のスキルがあつてこそその専門性。
 - ・県が予算をとって配置をすすめていく。

【第2分科会】社会教育主事・社会教育関係職員の専門性を高める研修等について

- ・都道府県主催、指定都市主催で研修のあり方は変わってくる。
- ・「聴く能力」 雑談から引き出し、ニーズや要望に変えて力
- ・ファシリテーション能力、社会的課題把握能力
- ・資金調達に関する研修
- ・研修を通じた市町村間のネットワークづくり
- ・他自治体の現場を見に行く。
- ・都道府県内のネットワークづくり
- ・年に数回の研修だけでなく、OJTを高める研修・組織の在り方
- ・「学びのオーガナイザー」として求められる能力

【第3分科会】社会教育主事の資格を生かした取組等について

- 嘱託社会教育主事制度 ← 有資格者の活躍の場
 - ・S46年度～ 有資格者(学校教員)に教育委員会が委嘱
 - 183名，土日の地域活動や地域とのコーディネート
- 社会教育主事配置の効果のエビデンスとは？
 - 有資格者が連携教員に → 連携・協働のアウトカムを示せば
- 社会教育主事の必要性をアピールしていく
 - ・予算化，継続的な養成
 - ・震災からの復興
- 社会教育主事の職務が理解されていない → 受講者の減少
 - ・モチベーションを高める仕組みづくり(学校での活躍)